

## 浮遊粒子状物質の測定結果(平成18年度)

浮遊粒子状物質は、大気中に浮遊する粒子状物質のうち粒径が $10\mu\text{m}$ ( $1\mu\text{m}$ は、1,000分の $1\text{mm}$ )以下のもので、大気中に比較的長期間滞留し、その発生源としては物の燃焼、粉碎、土砂の巻き上げなどがありますが、近年では、ディーゼル自動車からの黒煙による影響が大きな原因と考えられます。

平成18年度に、浮遊粒子状物質について21測定局(自動車排出ガス測定局4局を含む。)で測定した結果は、下表のとおりであり、大垣赤坂測定局の $0.043\text{mg}/\text{m}^3$ が最も高く、乗鞍測定局の $0.006\text{mg}/\text{m}^3$ で最も低くなっています。

すべての測定局で環境基準を達成できました。

平成18年度浮遊粒子状物質測定結果

地域	測定局名	有効測定日数(日)	測定時間(時間)	年平均値( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数とその割合		日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	日平均値の2%除外値( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日が2日以上連続したことの有無	長期的評価の適否	平成17年度	
					時間	%	日	%					年平均値( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	長期的評価の適否
岐阜	岐阜中央	359	8607	0.020	5	0.1	0	0.0	0.222	0.052	無	○	0.022	○
	岐阜南部	364	8710	0.023	7	0.1	1	0.3	0.338	0.052	無	○	0.023	○
	岐阜北部	363	8675	0.019	7	0.1	1	0.3	0.343	0.056	無	○	0.022	○
	各務原	364	8700	0.025	6	0.1	1	0.3	0.316	0.063	無	○	0.028	○

	羽島	355	8529	0.027	8	0.1	1	0.3	0.390	0.056	無	○	0.025	○
	平均	／	／	0.023	／	／	／	／	／	／	／	／	0.024	／
西濃	大垣中央	363	8684	0.028	8	0.1	1	0.3	0.396	0.076	無	○	0.027	○
	大垣南部	323	7776	0.030	0	0.0	0	0.0	0.177	0.067	無	○	0.024	○
	大垣西部	105	2883	0.035	0	0.0	0	0.0	0.137	0.067	無	—	0.013	○
	大垣赤坂	281	6852	0.043	7	0.1	1	0.4	0.298	0.079	無	○	0.045	○
	平均	／	／	0.034	／	／	／	／	／	／	／	／	0.027	／
中濃	美濃加茂	339	8144	0.025	0	0.0	0	0.0	0.132	0.059	無	○	0.019	○
東濃	土岐	329	7992	0.028	4	0.1	2	0.6	0.259	0.085	無	○	0.027	○
	瑞浪	295	7097	0.028	8	0.1	1	0.3	0.320	0.065	無	○	0.023	○
	笠原	342	8250	0.026	7	0.1	1	0.3	0.342	0.068	無	○	0.026	○
	中津川	357	8564	0.023	5	0.1	0	0.0	0.247	0.062	無	○	0.023	○
	中津川柳	365	8726	0.025	0	0.0	0	0.0	0.138	0.058	無	○	0.023	○

	平均	／	／	0.026	／	／	／	／	／	／	／	／	0.024	／
飛驒	高山	365	8727	0.019	1	0.0	0	0.0	0.206	0.047	無	○	0.020	○
	乗鞍	334	8036	0.006	0	0.0	0	0.0	0.153	0.022	無	非適用	0.007	／
	平均	／	／	0.013	／	／	／	／	／	／	／	／	0.014	／
県平均		／	／	0.025	／	／	／	／	／	／	／	／	0.023	／
岐阜 明德 自排		336	8177	0.023	8	0.1	0	0.0	0.273	0.054	無	○	0.024	○
大垣 自排		365	8736	0.031	8	0.1	3	0.8	0.402	0.071	無	○	0.033	○
可児 自排		267	8454	0.019	6	0.1	1	0.4	0.354	0.041	無	○	0.027	○
土岐 自排		365	8740	0.032	6	0.1	1	0.3	0.286	0.071	無	○	0.034	○

備考)

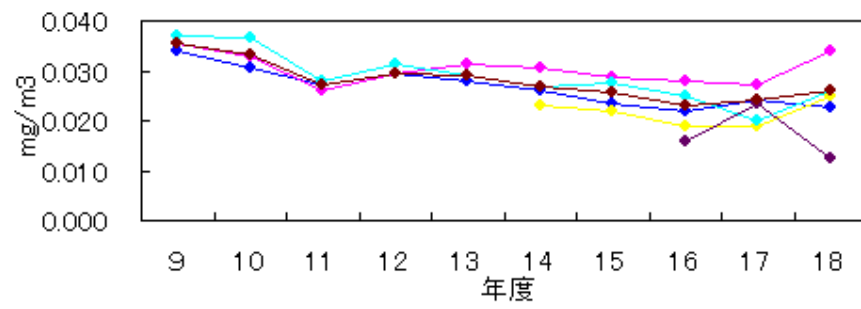
1 県地球環境課調べ

2 環境基準の長期的評価に適合しているとは、測定時間が年間 6,000 時間以上あり、日平均値が  $0.10\text{mg}/\text{m}^3$  を超えた日が2日以上連続せず、かつ、日平均値が  $0.10\text{mg}/\text{m}^3$  を超えた日数が年間を通じて2%以下であることを示す。

3 「長期的評価の適否」欄の「-」は、年間の測定時間が 6,000 時間に満たないことを示す。

○過去 10 年間の経年変化

浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化



岐阜地域平均      西濃地域平均      中濃地域平均  
 東濃地域平均      飛騨地域平均      県平均